

別添

講義実施計画（シラバス）

科目名英字 General information (Global economy)

授業のねらい及び到達目標：アジアを単一に捉えるのではなく、その多様性を理解する。そのために気候・風土・経済基盤を共通とする小地域とそうした小地域の中で創成された地域機構成立の背景、目的を押さえる。そして、アジア共同体の創成を構想する視点を持ちながら、主要国・地域および地域機構と日本との関係を学習する。

学習内容：日本もアジアの一員であるとの認識のもと、日本と対象国・地域・地域機構の関係についても取り上げる。必要に応じて、貿易・投資や経済に関わる特記すべき事項（エネルギー・資源関係等）の他、歴史的背景や政治・社会的な関わりについても触れる。講義は本学教員と外部からの講師により実施する。外部からの講師には海外の研究者・識者、日本在住の研究者・識者を起用する。

授業内容のレベル、関連科目：アジアの多様性と日本および各国・地域・地域機構のつながりについて、平易に説明する。日頃から国際関係のニュースに目を通すことを心掛ける。

授業外学習（予習・復習）事前学習：次回の授業で扱う国や組織、および特にキーワードが明示されている場合はそのワードについて、参考文献等の該当箇所を通読すること。

事後学習：授業時に配布した資料について振り返りをおこなうこと。

使用テキスト：プリント等、適宜資料を配布する。

参考書、その他教材：参考文献・資料などについては、適宜授業内で紹介する。

成績評価方法・基準：定期試験の成績、平常点の総合評価とする。平常点は受講態度、適宜提出する小レポート等を加味して評価する。

授業の形式・計画：

	期日	授業内容	担当者	区分
第1回	9月8日	はじめに アジアとは？	柴山信二郎	学内講師
第2回	9月15日	世界の地域区分と地域機構	須藤 繁	学内講師
第3回	9月22日	南アジアの中心であるインド	江田 仁	学内講師
第4回	9月29日	イギリスの外交政策とアジア	一柳 峻夫	学内講師
第5回	10月6日	アセアンとは？	柴山 信二郎	学内講師
第6回	10月13日	微笑みの国 タイの展望	Dr.Pechdau Tohmeena	外部講師
第7回	10月20日	ミャンマーとはどんな国	横森 佳世	学内講師
第8回	10月27日	多国籍企業における行動規範	小方 信幸	学内講師
第9回	11月17日	アセアン経済共同体(AEC)－新興国の現場から－	小澤 寧	外部講師
第10回	11月24日	エネルギー供給源としての中東	須藤 繁	学内講師
第11回	12月1日	国連の歴史と課題	江田 仁	学内講師
第12回	12月8日	EUの歴史と課題	一柳 峻夫	学内講師
第13回	12月15日	国際協力活動	横森 佳世	学内講師
第14回	12月22日	アジア共同体の創成に向けて	須藤 繁	学内講師
第15回	1月5日	まとめ(国際社会におけるアジアの位置と可能性)	柴山信二郎	学内講師

なお、招聘講師・外部講師の状況等により、講義の順番等を入れ替えることがある。

※講義日程および内容は講師の都合等により変更になることがあります。